

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年7月15日

【四半期会計期間】 第38期第1四半期(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

【会社名】 セントラル警備保障株式会社

【英訳名】 CENTRAL SECURITY PATROLS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役執行役員社長 白川保友

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル

【電話番号】 03(3344)1711

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 池田克義

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル

【電話番号】 03(3344)1711

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 池田克義

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

横浜支社  
(神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号  
クイーンズタワーB)

千葉支社  
(千葉県千葉市中央区新田町36番15号  
千葉テックビル)

埼玉支社  
(埼玉県さいたま市大宮区宮町二丁目81番地  
日本生命大宮アネックス)

大阪事業部  
(大阪府大阪市淀川区西中島一丁目11番16号  
住友商事淀川ビル)

名古屋支社  
(愛知県名古屋市中区丸ノ内三丁目5番10号  
住友商事丸ノ内ビル)

神戸支社  
(兵庫県神戸市中央区京町83番地  
KDC神戸ビル)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回 次	第38期 第1四半期連結累計(会計)期間	第37期
会 計 期 間	自 平成21年 3月 1日 至 平成21年 5月31日	自 平成20年 3月 1日 至 平成21年 2月28日
売上高 (千円)	9,913,226	39,709,867
経常利益 (千円)	361,927	1,942,962
四半期(当期)純利益 (千円)	158,661	1,069,779
純資産額 (千円)	15,893,090	16,027,781
総資産額 (千円)	30,111,322	29,893,251
1株当たり純資産額 (円)	1,095.59	1,105.66
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	10.97	73.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)		
自己資本比率 (%)	52.6	53.4
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,034,909	2,670,081
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	534,589	1,639,017
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	64,037	524,746
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	4,655,267	4,090,909
従業員数 (名)	4,754	4,663

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年5月31日現在

従業員数(名)	4,754
---------	-------

(注) 従業員数は就業人員であります。

### (2) 提出会社の状況

平成21年5月31日現在

従業員数(名)	3,747
---------	-------

(注) 従業員数は就業人員であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当社グループは生産活動を行っておりませんが、当第1四半期連結会計期間末日現在実施中の業務別契約件数は、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	契約件数(件)
(セキュリティ事業)	
常駐警備	816
機械警備	70,663
運輸警備	2,414
小計	73,893
(その他の事業)	342
合計	74,235

#### (2) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における事業の種類別ごとの業務別販売実績は、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)
(セキュリティ事業)	
常駐警備	5,134,404
機械警備	3,108,919
運輸警備	668,482
工事・機器販売	837,242
小計	9,749,049
(その他の事業)	164,177
合計	9,913,226

(注) 1 上記金額には消費税等を含んでおりません。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第1四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
東日本旅客? 道株	1,113,300	11.2

### 2 【経営上の重要な契約等】

#### (1) 業務提携基本契約

契約会社名	相手方の名称	契約の名称	契約内容	契約期間
セントラル警備保障株式会社(当社)	東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本)	業務提携基本契約書	当社との資本提携及びJR東日本グループに対する警備サービスの提供に関する業務提携(対価:物件ごとの個別警備契約書による)。	平成9年12月18日締結、以後1年ごとの自動更新

### 3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した世界的な金融市場の混乱の影響がまだ色濃く残っており、多くの企業で収益悪化が表面化し、設備投資や雇用環境が厳しい状況で推移しました。

当警備業界におきましては、近年の治安悪化を背景に、法人・個人を問わず安心・安全のニーズは高いものの、激しい企業間競争に加えて、法人顧客にあっては景気低迷によるコスト抑制意識が高く、また個人マーケットにおいても消費意欲の低下など、厳しい環境に置かれております。

このような状況の中、当社グループは平成21年3月よりスタートした新中期経営計画「CSPニューパワーアップ計画」に基づき、お客さま価値の創造、ソリューション型営業の実践、主力商品・サービスの販売強化などにより、より高品質な警備サービスの提供及びお客さまとのグッドパートナー関係を構築するとともにCSPブランドの向上に努めて参りました。

その結果、当第1四半期連結会計期間における当社グループの業績は、売上高は99億1千3百万円となりました。利益面につきましては、労務費及び退職給付費用の増加などにより営業利益は3億3千4百万円、経常利益は3億6千1百万円となり、四半期純利益は1億5千8百万円となりました。

事業部門別の業績は次のとおりであります。

#### (セキュリティ事業)

常駐警備部門につきましては、当第1四半期連結会計期間中に警備体制の縮小・解約の動きが顕著になりましたが、新規契約・臨時警備などが堅調だったこともあり、常駐警備部門の売上高は51億3千4百万円となりました。

機械警備部門につきましては、激しい企業間競争の中、マンションセキュリティ「HiSCT(ハイセクト・シリーズ)」及び「安心部屋」が好調に推移しました。この結果、機械警備部門の売上高は31億8百万円となりました。

運輸警備部門につきましては、集配金サービスが堅調に推移したこともあり、売上高は6億6千8百万円となりました。

工事・機器販売部門につきましては、鉄道系ICカード(Suica・PASMO・ICOCAなど)が利用できる入退室管理システム「centrics(セントリック・シリーズ)」が堅調に推移しましたが、大型案件が伸び悩んだこともあり、工事・機器販売部門の売上高は8億3千7百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間のセキュリティ事業の売上高は97億4千9百万円となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業につきましては清掃業務や電気設備の保安業務等の建物総合管理サービスを中心に事業を行っております。当第1四半期連結会計期間の売上高は1億6千4百万円となりました。

## (2)財政状況の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億1千8百万円増加し、301億1千1百万円（前連結会計年度末比0.7%増）となりました。その主な内容は、現金及び預金の増加1億3千9百万円、未収警備料の増加1億5千万円、繰延税金資産の増加2億7千2百万円、受取手形及び売掛金の減少2億8千3百万円、投資有価証券の評価額の減少1億9百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億5千2百万円増加し、142億1千8百万円（同2.5%増）となりました。その主な内容は、預り金の減少4億6千2百万円などがあったものの、短期借入金の増加2億6千6百万円、未払費用の増加1億5千8百万円、賞与引当金の増加6億4千万円などによるものです。

純資産は、利益剰余金が4千3百万円減少、その他有価証券評価差額金1億2百万円減少などにより、前連結会計年度末に比べ1億3千4百万円減少し、158億9千3百万円（同0.8%減）となりました。

## (3)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の状況は、次の通りであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の営業活動の結果、増加した資金は10億3千4百万円であります。資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益3億2千2百万円、減価償却費2億9千5百万円、賞与引当金6億4千万円であります。これに対し資金の主な減少要因は、法人税等の支払額4億6千8百万円であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の投資活動の結果、使用した資金は5億3千4百万円であります。その主な内容は、有形固定資産の取得による支出3億8千1百万円であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の財務活動の結果、増加した資金は6千4百万円であります。資金の主な増加要因は、短期借入金による純増2億6千6百万円であり、資金の主な減少要因は、配当金の支払いによる支出2億2百万円であります。

## (4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5)研究開発活動

当第1四半期連結会計期間において、当社グループにおける研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除去等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除去、売却等の計画はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年7月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,816,692	14,816,692	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	14,816,962	14,816,692		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年3月1日～ 平成21年5月31日		14,816,692		2,924,000		2,781,500

#### (5) 【大株主の状況】

当第1四半期会計期間において、大株主の異動はありません。



(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 358,000 (相互保有株式) 普通株式 15,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,407,800	144,078	
単元未満株式	普通株式 35,092		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	14,816,692		
総株主の議決権		144,078	

- (注) 1 「単元未満株式」には当社所有の自己株式41株が含まれております。  
 2 「完全議決権株式(その他)」には、証券保管振替機構名義の株式が2,100株(議決権21個)、「単元未満株式数」には、同名義の株式が71株含まれております。

【自己株式等】

平成21年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) セントラル警備保障株式会社	東京都新宿区西新宿 二丁目4番1号 新宿NSビル	358,000		358,000	2.4
(相互保有株式) 株式会社トーノーセキュリティ	岐阜県多治見市 上野町五丁目 38番1号	15,800		15,800	0.1
計		373,800		373,800	2.5

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年3月	4月	5月
最高(円)	857	850	828
最低(円)	769	799	783

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間(平成21年3月1日から平成21年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって、有限責任監査法人トーマツとなりました。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,373,653	8,233,736
受取手形及び売掛金	357,869	641,330
未収警備料	3,374,242	3,223,480
貯蔵品	1,012,709	986,889
その他	1,554,223	1,396,896
貸倒引当金	13,240	13,576
流動資産合計	14,659,458	14,468,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,158,884	4,152,384
減価償却累計額	1,670,850	1,634,804
建物及び構築物(純額)	2,488,034	2,517,580
警報機器及び運搬具	10,047,985	9,814,421
減価償却累計額	7,149,109	7,061,470
警報機器及び運搬具(純額)	2,898,875	2,752,951
その他	2,571,230	2,579,232
減価償却累計額	835,299	830,961
その他(純額)	1,735,931	1,748,271
有形固定資産合計	7,122,841	7,018,802
無形固定資産	668,437	696,537
投資その他の資産		
投資有価証券	4,488,148	4,597,897
その他	3,208,088	3,146,149
貸倒引当金	35,652	34,892
投資その他の資産合計	7,660,585	7,709,154
固定資産合計	15,451,864	15,424,494
資産合計	30,111,322	29,893,251

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,114,461	1,053,138
短期借入金	1,141,793	875,000
未払法人税等	387,487	473,926
前受警備料	264,374	290,554
預り金	3,347,833	3,809,937
賞与引当金	1,469,296	828,798
役員賞与引当金	51,600	42,600
その他	2,781,454	2,769,615
流動負債合計	10,558,301	10,143,570
固定負債		
長期借入金	1,610,000	1,610,000
退職給付引当金	141,710	151,006
役員退職慰労引当金	8,492	8,216
その他	1,899,727	1,952,677
固定負債合計	3,659,930	3,721,899
負債合計	14,218,231	13,865,470
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,924,000	2,924,000
資本剰余金	2,784,162	2,784,162
利益剰余金	8,647,046	8,690,812
自己株式	327,846	327,517
株主資本合計	14,027,362	14,071,457
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,828,276	1,931,195
繰延ヘッジ損益	14,955	15,806
評価・換算差額等合計	1,813,320	1,915,388
少数株主持分	52,408	40,935
純資産合計	15,893,090	16,027,781
負債純資産合計	30,111,322	29,893,251

(2)【四半期連結損益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	9,913,226
売上原価	7,853,735
売上総利益	2,059,491
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	664,509
賞与引当金繰入額	122,403
役員賞与引当金繰入額	10,000
退職給付費用	10,836
その他	917,614
販売費及び一般管理費合計	1,725,363
営業利益	334,127
営業外収益	
受取利息	4,708
受取配当金	15,159
その他	24,360
営業外収益合計	44,228
営業外費用	
支払利息	15,778
その他	649
営業外費用合計	16,428
経常利益	361,927
特別利益	
前期損益修正益	15
貸倒引当金戻入額	598
特別利益合計	613
特別損失	
前期損益修正損	8,693
固定資産除却損	30,955
その他	760
特別損失合計	40,408
税金等調整前四半期純利益	322,132
法人税、住民税及び事業税	382,415
法人税等調整額	230,615
法人税等合計	151,799
少数株主利益	11,671
四半期純利益	158,661

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	322,132
減価償却費	295,413
賞与引当金の増減額(は減少)	640,498
売上債権の増減額(は増加)	132,699
たな卸資産の増減額(は増加)	25,820
仕入債務の増減額(は減少)	61,323
その他	73,923
小計	1,500,170
利息及び配当金の受取額	19,868
利息の支払額	16,275
法人税等の支払額	468,854
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,034,909</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の増減額(は増加)	10,980
有形固定資産の取得による支出	381,029
無形固定資産の取得による支出	87,658
投資有価証券の取得による支出	64,921
その他	10,001
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>534,589</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(は減少)	266,793
配当金の支払額	202,426
自己株式の取得による支出	329
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>64,037</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	564,357
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>4,090,909</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>4,655,267</b>

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第1四半期連結会計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

項目	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日至平成21年5月31日)
1 会計処理基準に関する事項の変更	1 たな卸資産の評価に関する会計基準の適用 たな卸資産については、従来主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。なお、これによる損益に与える影響はありません。

【簡便な会計処理】

重要なものはありません。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日至平成21年5月31日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係	(平成21年5月31日)
現金及び預金勘定	8,373,653千円
運輸警備用現金及び預金	3,678,016
預入期間が 3か月を超える定期預金	40,370
現金及び現金同等物	4,655,267

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年5月31日)及び

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期連結会計期間末
普通株式(株)	14,816,692

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期連結会計期間末
普通株式(株)	358,041

3 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月21日 定時株主総会	普通株式	202,426	14.00	平成21年2月28日	平成21年5月22日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「セキュリティ事業」の割合が90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、記載しておりません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

海外売上高がないため、記載しておりません。



(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末(平成21年5月31日)	前連結会計年度末(平成21年2月28日)
1,095.59円	1,105.66円

2 1株当たり四半期純利益金及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日至平成21年5月31日)	
1株当たり四半期純利益	10.97円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年7月9日

セントラル警備保障株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 手塚 仙夫

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小島 洋太郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているセントラル警備保障株式会社の平成21年3月1日から平成22年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間(平成21年3月1日から平成21年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、セントラル警備保障株式会社及び連結子会社の平成21年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。